

運営方針

Management Policy

私たちは、子どもたちにとっても、保護者の方にとっても、そしてスタッフにとっても「安心していただける場所」であるためにごまかさず、取り繕わず、まっすぐに向き合っていくことを何よりの土台としています

「信頼できる場所」

～ まっすぐに、誠実に ～

目指すのは、

子どもたちが自分らしく、安心して過ごせる場所

保護者の方が何でも相談できる相手がいる場所

スタッフが誠実に支援に向き合える場所

そんな「小さな信頼の積み重ね」が、子どもたちの未来を支えると、私たちは信じています

きれいな言葉だけではなく、目の前の子どもたちと、保護者の方々の毎日の中で、誠実で、丁寧な支援を積み重ねていくこと

それが、私たちの「運営方針」です

透明性

「見える支援」で、信頼につなぐ

支援の目的や活動内容を、できるだけわかりやすくオープンにお伝えします。子どもの様子や取り組みの過程も、良いことだけでなく、正直に共有することを大切にしています。保護者の方と一緒に支援の方向性を考える「開かれたチーム」でありたいと考えています

真正性

その子に、まっすぐに向き合う

一人ひとりの子どもが持っている「その子らしさ」を大切に、できるだけ“そのまの姿”で関わられるように心がけています。子どもに対しても、保護者に対しても、スタッフ同士でも、正直な関係性・本音のやりとりを重視しています。支援者側の都合や理屈を押しつけるのではなく、“今のその子”を出発点に支援を考える姿勢を守ります

法令遵守

安心・安全の基本として

児童福祉法、障害者総合支援法など、関係法令に基づいた正しい運営を徹底しています。虐待防止・身体拘束の適正化・個人情報保護・感染症対策などのマニュアルを整備し、定期的な見直しと研修を実施しています。曖昧な運営や“なんとなく”の支援にならないよう、根拠を持ち、責任を持った支援を行うことをスタッフ全員で確認合っています

児童発達支援事業所としての責任を果たすために